

沿道系地域の緑化指針

■空間にゆとりを持たせて緑化する。

周辺の住宅地や用途の異なる施設との境界部では、できる限り空間を確保して緑化を施すなど、お互いの施設の調和に努めましょう。



■見え方を意識して植栽で修景する。

通りに面する側では、空地や壁面、建築や外構などに対して積極的な緑化を施し、うるおいのある沿道景観の形成を図りましょう。



■季節感のある緑を組み合わせる。

季節感が楽しめる落葉樹や草花に加えて、防音や遮蔽効果のある常緑樹、ゆたかりとした印象を与える芝生や地被植物など、緑の組み合わせを工夫しましょう。



【植栽候補樹種一覧表】 ※下線表示は本地域における推奨樹種 ※凡例：(郷) 郷土種 / (柏) 市の木

高・中木 樹高 4.0m以上	常緑広葉樹	アラカシ・スダジイ(郷)・シラカシ(郷)・クスノキ・クロガネモチ・シロダモ(郷)・ヤブツバキ(郷)・カナメモチ・モッコク・モチノキ・キンモクセイ・シイ(柏)・タイサンボク・ビワ・マテバシイ・ユズリハ・イヌツゲ・ウバメガシ・オリーブ・カクレミノ・カラタネオガタマ・グッケイジュ・トキワマンサク
	落葉広葉樹	アオギリ・アカシデ(郷)・アキニレ・イヌシデ(郷)・エゴノキ(郷)・エノキ(郷)・カキノキ(郷)・カツラ・カリン・ケヤキ(郷)・ムクノキ・コナラ(郷)・クスギ(郷)・クマシデ(郷)・クリ・クロモジ・コブシ(郷)・ソメイヨシノ・サトザクラ・ハナミズキ・サルスベリ・イロハモミジ・ヤマモミジ(郷)・ヤマボウシ・カシワ(柏)・ムラサキシキブ・マユミ(郷)・トサミズキ・マンサク・ムクゲ・サンシュユ・シダレヤナギ・シラカンバ・トウカエデ・ナツツバキ・ナンキンハゼ・ハルニレ・ハンノキ(郷)・ヒメシャラ・ホオノキ(郷)・ミズキ(郷)・ムクノキ(郷)・イチジク・イボタノキ(郷)・ウメ・ギョリュウ・シデコブシ・シモクレン・ツリバナ(郷)
	針葉樹	クロマツ・アカマツ(郷)・イヌマキ・コウヤマキ・ドイツトウヒ・サワラ・ヒノキ・ヒマラヤスギ・メタセコイア・ニオイヒバ・イチイ
低木 樹高 0.3m以上	常緑広葉樹	アオキ(郷)・トベラ・ヒサカキ・シャリンバイ・ジンチョウゲ・チャノキ(郷)・ツツジ類・アセビ・ビヨウヤナギ・ナンテン
	落葉広葉樹	ガマズミ・アジサイ・ドウダンツツジ・ヒユウガミズキ・ヤマブキ・ユキヤナギ・ニシキギ(郷)・シモツケ・レンギョウ・コデマリ

出典：緑化計画の手引き（平成23年4月）

(注) 選定にあたっては、市民の生活や農産業、周辺の自然生態（特定外来種防除を含む）等への影響に十分配慮して下さい。

緑化ガイドライン（用途地域編：沿道系地域）

編集・発行：柏市 都市部 公園緑政課

〒277-8505 柏市柏 5-10-1 TEL 04-7167-1111(代) FAX 04-7167-7668

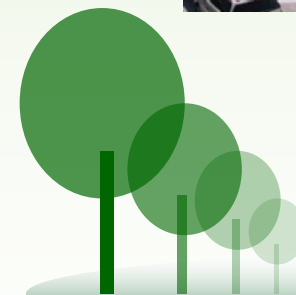
E-Mail info-knry@city.kashiwa.ig.jp

緑化ガイドライン

～緑あふれる街のために～

用途地域編

【沿道系地域】



柏市

柏市の沿道系地域

緑の現状と課題

【緑の現状】

- 沿道型店舗、業務・流通施設、住宅など、色々な用途の利用が見られます。それらの施設の合間や背後には、住宅地が隣接しています。
- 道路に面する緑、斜面緑地などが魅力的な景観資源となっています。国道16号線の松ヶ崎付近では斜面緑地が残り、景観に彩りを与えています。
- 大きく派手な広告・看板や奇抜なデザインの店舗が目立っています。周辺の環境や景観との調和に欠け、違和感を与えがちな状況となっています。

【緑の課題】

- 境界部に緩衝緑地などを設け、施設利用者等が安らげる空間への配慮が必要。
- 沿道部分では、できる限りオープンスペースを確保した緑化や修景が必要。
- 街路樹の整備を中心とした道路の緑化は、一部地域を除いて進んでいない。

沿道系地域の緑化

緑のまちづくりの方向性

【周辺の住宅や緑などになじむ沿道の景観づくり】

- 敷地境界部は、緑による修景を図る。
- 住宅地に対して空間にゆとりを持たせて緑化する。

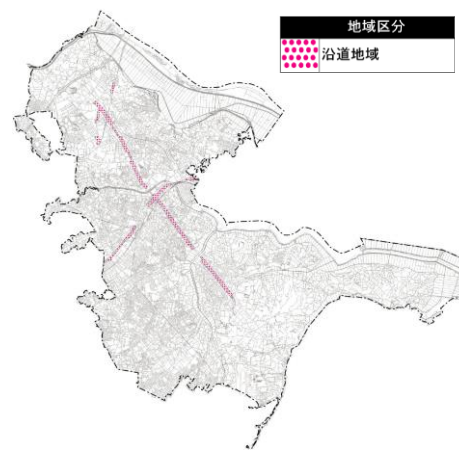
【通りからの見え方に配慮した沿道の景観づくり】

- 季節感のある緑により、潤いある沿道景観を形成。
- 駐車場等の施設は、植栽による修景を図る。

【デザインの工夫による沿道景観の魅力づくり】

- スペースが無い場合でも、緑を工夫して用いる。
- 設備などは、目立たないように植栽等で修景。

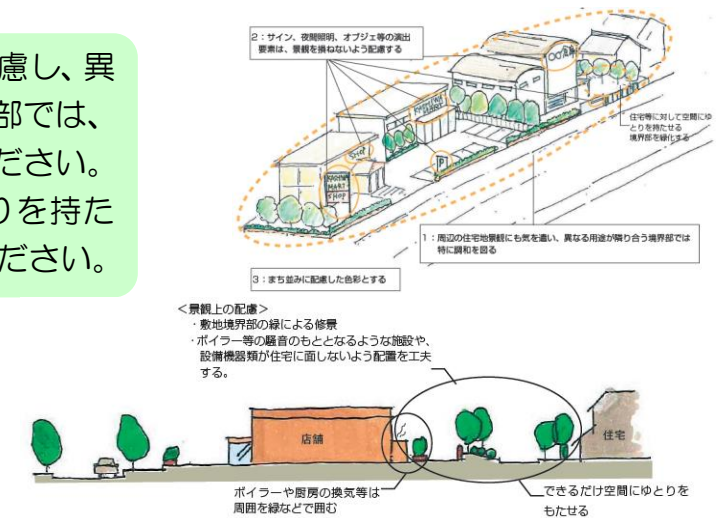
【該当する地域】



開発事業者様へのお願い

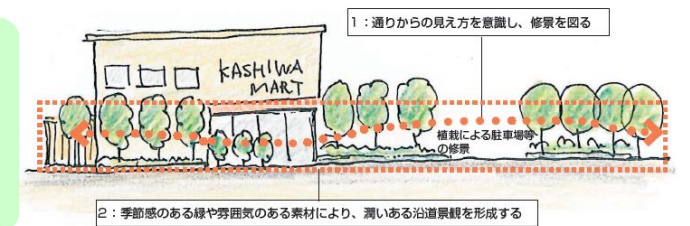
① 柏の沿道景観の基本として配慮すること

- 周辺の住宅地景観にも配慮し、異なる用途が隣り合う境界部では、緑化等で調和を図ってください。
- できる限り空間にゆとりを持たせ、緑により修景してください。

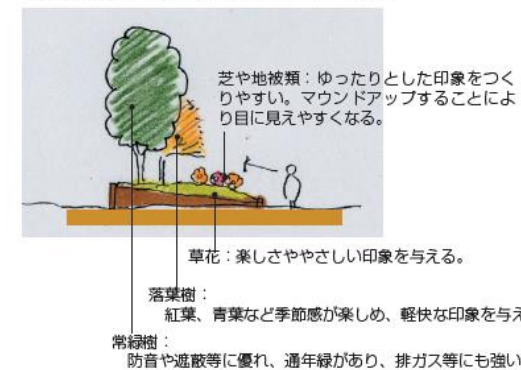


② 通りからの見え方に配慮すること

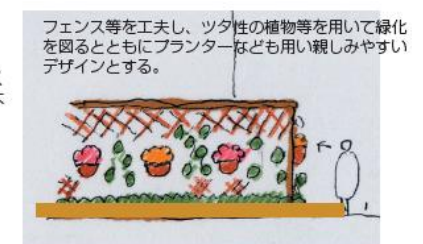
- 通りからの見え方を意識し、植栽等で修景してください。
- 季節感のある緑化を施し、潤いのある景観を作ってください。



<季節感が感じられる緑の組み合わせを考える>



<ゆとりがない場合も緑を工夫して用いる>



③ 沿道景観の魅力づくりのために配慮すること

- 設備類は通りから見て目立たないように、植栽などで修景してください。
- 周囲の緑と一体感のある緑化を行ってください。

